

北海道遺産を 訪ねて

2

photograph Kouki Yoshida 撮影協力／ニセコマウンテンリゾート グラン・ヒラフ



羊蹄山を望むゲレンデにて。レルヒ中佐に扮するのは「藻岩レルヒ会」会長の原田廣記さん。

スキーとニセコ連峰

ニセコ地域

訪ね方



藻岩レルヒ会

レルヒ中佐が北海道に伝えたスキー技術の伝承などを目的に設立された札幌市にある団体。

☎ 011-572-0708 <http://moiwa-lerch.net>

*記事の制作にあたっては、
「NPO法人北海道遺産協議会事務局」発行の
情報誌を一部参考にさせていただきました。

冬の北海道と言えばスキー場を連想する人も多いだろう。北海道には各地に大小様々なスキー場があり、気軽にスキーやスノーボードなどが楽しめる。なかでも豪雪で知られるニセコ地域は、標高約1,308メートルの主峰・アンヌプリ、そしてイワオヌプリ、チセヌプリなどからなるニセコ連峰が連なり、大規模なゲレンデが切り開かれている。強い寒気の影響による上質なパウダースノーは国内外で評価が高く、地元のグルメや温泉などが楽長期滞在客を惹きつけているのも特徴。スキー場周辺には、しめるワインターリゾートが形成されている。

また、北海道に初めて本格的なスキー技術を伝えたとされるのは、オーストリアの軍人・テオドール・フォン・レルヒ中佐。「藻岩レルヒ会」の会長・原田廣記さんが収集した当時海道初となるスキーの実地講習を行なったとされる。「同年、羊蹄山を登ったレルヒ中佐は、滞在した俱知安町でもスキー講習を行なっています」と原田さん。ちなみに軍人のレルヒ中佐が伝えたのは、山中をかきわけ進む行軍に適した竹製の一本杖を使うすべり方。長めの杖は統を支え、狙いを定められた。より早くすべれる北歐式の二本杖スキーが広まることに。ともあれレルヒさんは、スキーキャ客でにぎわう現在のニセコを見て何を思うことだろう。

「北海道遺産」について

北海道の自然・歴史・文化・生活・産業など、「次の世代に残したい北海道の宝物」として道民から推薦された有形無形問わず価値あるもの。平成13年10月より選定が始まり、現在は52件を数える。NPO法人 北海道遺産協議会事務局 <http://www.hokkaidoisan.org>

しかし、大阪生まれの大坂育ち、九州生活が長かった私は、一度もスキーを履いたことがない。そもそも極度の運動音痴だ。

新鮮な海の幸に絶品です。そして、病みつきになってしまったステーキカレー。大坂から札幌に先月転勤してきた記者(42)は、わずか3週間で1・5キロの体重増に見舞われた。冬の運動不足を解消し、それなりに体形を保つには——。そりやもう、雪と親しむしか、ないつしよ。

雪と親しみ体形維持



普段の靴に「簡単スキーコード」をはいた
男の子=札幌市南区の真駒内公園

るが、「そういう人のためにこそ簡単スキーを作ったのです」と快諾してくれた。

じつとり汗ばんだ

雪国・北海道でもスキー離れは進んでいるという。手軽、そして気軽にスキーを楽しんでもらいたいと開発した。(札幌市立藻岩小学校) 札幌市立藻岩小学校は今月から、休憩時間の児童の遊び道具として簡単スキーを導入している。手作業で製作し

会場となつた前田森林公園
、帯広市手稲区で、スキー板
、ストックの3点セットを
00円でレンタル、1周り
あまりのコースへGO!!。
最初は普通に歩く。慣れて

先だけをヘルトで固定する
かかとは上がるの、履き心地はスノーシューに近い。重量は800gと超軽量で、履いて10分ほどで自分の足と二体化した気分になり、雪の上を進めるようになった。

またもや無料講習会へ。主催は札幌オールカマースポーツ俱楽部。若かりしどろガーマンだったおじさんたちが昨春発足させた、その名の通り「だれでも歓迎」の集まり

ているため、1組2万円(税抜)するが、登山専門店「秀岳荘」などで販売している。

「簡単」から始めて歩くスキー挑戦



吹雪の中、ひたすら歩く記者(左)
=札幌市手稲区の前田森林公園

きたら、ストックを使ひてスキーを前へ前へと滑らせるようにする。歩くスキーは簡単スキーより板の幅が狭く、バランスが取りにくく、転倒すること2度、3度。前傾姿勢で足元の雪と向き合っていると、修行僧のようなストイックな気分になってきた。

体験日はあいにくの猛吹雪。零下5度は上回らなかつたはずだが、それでも1時間近くかかって1周し終えたところには、背中と額がじっと汗ばんだ。

翌日、二の腕と内股のつけ根がひどい筋肉痛に見舞われた。歩くスキーを続ければ、いずれは脂肪が落ちて「ぶよぶよ」から脱出できるかも?

■札幌市内の大公園のレンタル状況

公園(所在地)	レンタルできる用具(レンタル料)
中島公園(中央区)	歩くスキー、靴、ストック(無料)
前田森林公園 (手稻区)	歩くスキー、靴、ストック(200円)、 スノーシュー(2時間200円)など
モエレ沼公園 (東区)	歩くスキー(200円)、スノーシュー(300円)、そり(200円)、長靴(200円)
川下公園 (白石区)	歩くスキー、スノーシュー (ともに200円)
滝野すずらん丘陵 公園(南区)	ゲレンデスキー(2500円)、歩くスキー(800円)、スキーウエア(1500円)など

札幌市内の多くの公園で、歩くスキーやスノーシューなどが貸し出されている=表参照。いずれも懐に優しいレンタル料。手ぶらで出かけて体はぽっかぽか。寒いからといって家に閉じこもるのではなく、天気のいい日は近くの公園を歩きませんか。

の申し込み、問い合わせ

-4121

www.asahiculture.com/sapporo/

朝日サービス

新聞折り込み広告などの申し込み、問い合わせ

011-231-1237

<http://www.asaori-sapporo.com/>

「狸小路」停留所

る。 ような車道中央ではなく、両端の歩道側に寄せて敷く「サイドリザベーション方式」を採用す

「狸小路」停留場を新設／車両位置の表示板整備

に選ばれた札幌工業高3年生のチーム
の結果、1月下旬に受賞が決まった。
6人は昨年夏から授業の課題研究として挑戦し、研究結果をまとめて応募した。同校では東日本大震災があり、た2011年から、地震や津波に強い建築について研究に取り組んでいる。可動式の制振装置はマンションなど鉄筋コンクリート造り



原田さん（右奥）の指導
で、簡単スキーで雪山を
登る児童

48組を購入した。使い、約1000万円で授業では会長の原田広記さん(76)の指導で簡単スキーブルトなどで、爪先やベルトなどを固定すると、「すごく楽だね」と声

が上がった。通常のスキーとの違いに戸惑っていた児童たちもすぐ慣れ、校庭の雪山を登つたり、滑り降りたりした。

が上がった。通常のスキーとの違いに戸惑っていた児童たちもすぐ慣れ、校庭の雪山を登つたり、滑り降りたりした。

北海道新聞社 2014

第25600号(日刊)

2014年
2月5日水

発行所：北海道新聞社
札幌市中央区大通西3丁目6
〒060-8711 電話：011-221-2H11
www.hokkaido-np.co.jp

読者センター
011-210-5888

ご購読申し込み
0120-464-104

第65回さっぽろ雪まつり 道新 氷の広場

簡単スキー」楽だね

た。学校の授業に取り入れられるのは初めてで、3年生26人が会員の指導を受けて挑戦した。

江別市役所食堂で新ランチ



農家の「あさん」ソンチ第3弾として提供が始
まった「あひこの手前味噌づくり」

6人は試行錯誤しながらバネの材質や組み合わせ方を変更。小樽市の北海道職業能力開発大学校に持ち込んで振動実験を繰り返し、可動式屋根を取り付けようと、屋根を固定した状態比べて3分の1の揺れまで軽減することに成功した。

チームで唯一の女子生徒の渡川恵乃さんは、「(18)は「地震に対し、何ができるか深く考えること」になつた」。こ

の春から、同大で学ぶ班長の西沢天汰君(18)は「新しいものを作ったことが評価されうれしい。実用化の可能性もあり、研究を続けてみたい」と意気込んだ。(玉置哲也)

100年前の勇姿 今に

一本杖スキー披露

一本杖スキーが16日、札幌市南区にある札幌藻岩山スキー場で披露された。藻岩レルヒ会(原田広記会長)が、スキーフェスティバルの行事として、道内に技術が伝えられた約100年前の衣装や木製スキー板で、白銀の雪面を滑った。(吉川有子)

札幌・藻岩レルヒ会

藻岩山では1912年(明治45年)、北海道にスキー技術を伝えたオーストリア・ハンガリー帝国の軍人レルヒ中佐(来日時は少佐)の教え子らがスキー登山をしたとされている。

会員14人が、軍服や女学生の羽織はかま、郵便局員の制服などに身を包み、約250の竹さおを手に滑走。

V字に隊列を組んで真っすぐ滑り降りる制動直滑降や、3人で横一列に並んで斜面につくったこぶで、ジャンプを披露するメンバー

札幌市立盤渓小2年の向井羽織はかま姿で滑走した原雪姫さん(3)は、さおを持つののが難しかったけど、

こんな衣装で滑れるのは楽しい」と笑顔。当時をしのばせるゆったりとした滑降に、スキー客から歓声があがつた。



V字編隊で、斜面を真っすぐ滑降するメンバーたち